

WORKSHOP

—さまざまな分野のワークショップ—

連続講座開催の主旨

Lawrence Halprin, Jim Burns が“Taking part”を著し、まちづくりや芸術・教育分野へワークショップ手法を取り入れることを示したのが 1974 年、その後、我々の先達が日本建築学会 関東支部 農村建築専門委員会等において、農村計画におけるワークショップを研究・実践し、現在の住民参加の礎を築いた。“Taking part”から約 40 年、Halprin が生活・芸術・環境・教育・コミュニティの観点から論じたワークショップは、現在どのように社会に根付いているのか、各分野で活躍する講師がどのようなワークショップ等を実践しているのか、参加者ととともに考える連続講座を開催します。

(参考: Taking part の翻訳書) 集団による創造性の開発/プレック研究所 編集・杉尾伸太郎・杉尾邦江 訳、牧野出版 1989

連続講座 第1回のご案内

アート、環境教育分野のワークショップについて考える。アートの分野からは「江古田をアートの町にしたい!」を目標に、練馬区でまちづくりに取り組む江古田ユニバースのみなさんから講演を頂きます。環境教育の分野からは、日本大学生物資源科学部 富士自然教育センターで活動をされている黒田貴綱さんより、環境教育の現場での経験を活かした講演を頂きます。

- 【主 催】日本建築学会 関東支部 農村建築専門研究委員会
- 【日時・会場】2014年5月10日(土) 14:00~ 建築会館 会議室(定員40名)
- 【参加費】日本建築学会会員1500円 学生1000円 一般2000円

[申込みはこちら](#)

【2014】平成26年5月・7月・9月・11月に連続講座を開催

- 5月10日:【アート系ワークショップ】 江古田ユニバース
 - 【環境教育ワークショップ】 黒田 貴綱(日本大学生物資源科学部 富士自然教育センター)
- 7月12日:【ワールドカフェ】 (講演者 最終調整中)
 - 【まちづくりワークショップ】 山口 忠志(練馬まちづくりセンター)■
- 9月20日:【自立支援・家づくりワークショップ】特定非営利活動法人 Habitat for Humanity・Japan
 - 【建築設計の視点から】 根来 宏典(根来宏典建築研究所)■ / 金井良浩(柏井建設)■
- 11月8日:【農村計画とワークショップ】 北澤 大佑(地域環境資源センター)■
(■) 日本建築学会 関東支部 農村建築専門研究委員会 委員

連続企画で得た住民参加手法に関する知見を整理し、現在及びこれからの農村計画に求められる住民参加について、各分野の専門家(ここまでの講演者)・参加者によるシンポジウムを行う。

【2015】平成27年3月 シンポジウム開催